

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

新橋地域ケアプラザ

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

地域の現状と課題について

<地域の支えあい活動の後方支援を実施しました>

中川・緑園・新橋のエリアはどこも地域活動が活発でどのエリアでも支えあい活動を展開しています。しかし、継続して活動するための広報活動、担い手の確保がどこも課題になっています。このことはどの地域活動においてもあてはまり、活動継続するための広報活動や個別相談から活動につなげるような后方支援を実施しました。

- ・新橋ふれあいぬくもり隊のマグネットのデザイン作成
- ・中川里山プロジェクトのチラシ作成・実践報告会の資料作成の補助
- ・緑園地区社協の研修会の認知症サポーター養成講座のチラシ作成
- ・ケアマネサロンにて地域で実施しているお困りごと支援グループの紹介
担い手の確保については継続した担い手発掘のための事業展開が必要です。

<認知症の方の支援が重要課題になっています>

認知症の方の相談は増えてきていて、対応にご家族や近隣住民が苦慮しています。ご本人の拒否がありなかなか介護保険等の支援に結び付かない方を認知症初期集中支援チームで取組ました。

(1)相談（高齢者・こども・障害者分野等の情報提供）

- ・地区社会福祉協議会・地区連合町内会の定例会や実施事業には継続的に参加し、地域情報を得るとともにケアプラザからも情報提供して、相談していただける関係を作り努めました。
- ・子育てネットワーク、自立支援協議会、Jr フレンド事業（特別支援学校や養護学校）で地域の行事に参加・地域情報の収集を行い、地域の今の問題点を把握し、重要度を図りながら自主事業を企画しました。
- ・包括支援センター・コーディネーター・所長の6職種で地域情報を共有し、相談や事業の進捗や課題について共有・検討しました。

(2) 各事業の連携

- ・ 地域行事、連合、地区社協、民生の会議等に参加した場合は報告書などを回覧し、情報を共有しました。
- ・ 地域から得た情報の中から、課題解決につながる事業を企画しました。
地域の支え合い活動・ちょこっとボランティア活動では個人で申し込みよりもケアマネさんからの申し込みのほうが安心、という声がありケアマネジャーに広く知ってもらうためにケアマネサロンで活動紹介をしました。
- ・ 所長、包括、地域、生活の6職種ミーティングでは各部署の自主事業の共有と他職種で関わる事業については役割分担。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ・ 欠員の解消に努め、入職した職員の定着にも力を注ぎ、地域から信頼を得る職員チームづくりに取り組みました。
- ・ 法人内での全体研修、事業別研修や事例検討会を実施し、組織知の底上げとスキルアップを目指しました。チーム力向上のため非常勤を含めたミーティングを実施しています。
- ・ 外部研修や会議については回覧・スタッフミーティング等で共有しました。
- ・ 常勤職は年2回所長と面接を実施し、業務に取り組むモチベーションの維持と計画進捗状況の評価を行いました。
- ・ 介護保険関連相談時のサービス事業所選定等については相談者のニーズを聞き、ホームページを用いて選択に資する情報を提供しました。
- ・ サービス事業所の調整については担当者会議や運営推進会議等を通して地域の居宅介護支援事業所の状況把握を行い、相談者への適切な情報提供につなげました。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ・ 子育てネットワークの会合を定期的に持ち子育て団体・関係機関と情報交換や当事者への情報提供を行いました。
- ・ エリアの地区社会福祉協議会に毎月参加し、情報収集とともに情報発信を行いました。
- ・ 貸し館利用団体の交流会・大掃除を実施し、団体同士の横の繋がり、地域活動の広がりをすすめました。
- ・ 認知症キャラバンメイト連絡会では、緑園東小のサポーター養成講座を実施したり、国際親善病院での講座を支援し、地域支えあいのネットワーク構築をすすめました。

(5) 区行政との協働

- ・ 地域支援チーム会議に参加し各地区の地域福祉保健計画実行について、区や区社協と協働しました。
- ・ 地域福祉保健計画に沿ったイベントへの参加をしました。
- ・ 元気づくりステーションの活動継続維持のために区と連携します。
- ・ カンファレンスで共有した困難ケースについて、区と役割分担して継続して取り組みました。
- ・ 区域のケア会議・協議体にはエリア課題が反映されるように取り組みました。

- ・区主催事業については地域住民に参加広報を実施し区行政との協働をすすめます

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- ・高齢者の情報活用術を高め、地域活動に積極的な参加を促すためにスマートフォン講座を2回開催しました。
- ・普段ケアプラザに来ない世代を取り込む為、親子工作教室はお父さん世代が、フォトスタジオでは3世代での来館がありました。
- ・子育て世代・障がい児者向け事業の事業を実施し、子ども料理教室やお菓子作り講座の講師は登録団体のお菓子づくりグループがボランティアで担ってくれました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・空き情報閲覧ファイルを受付に設置し、貸館利用率向上の取組みを継続しました。
- ・団体交流会を実施し、団体運営の困りごと、良かったことを共有し、他の登録団体への興味が湧いたと好評でした。
- ・団体文化祭を今年度は実施しませんでした。エリア内の福祉施設での活動発表の場を提供しました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・ボランティア育成となる事業企画として、団体交流会の時に区社協のボランティアセンターの職員に登壇していただき、エリア内で求められているボランティアの紹介をしてもらう場を設けた。
- ・地域のニーズを拾い、ボランティアしたい方、ボランティアを必要としている方双方のコーディネートを行いました。
- ・ボランティア募集のチラシをエリア内町内会の掲示板に掲示したり、回覧板で回覧することを実施しました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・地域の各地区のサロンや体操教室の情報を最新のものにし、スタッフ事務所に現在行われている事業を見やすく掲示しました。その結果地域情報が職員間で共有され、ケアマネなどがインフォーマルサービスの活動を利用者にすすめることができました。
- ・登録団体の団体交流会を年1回行いました。
- ・広報誌を定期発行を実施し、エリアの食生活等改善推進委員会のミニ講座も定期連載しました。
- ・ブログでの情報発信を年12回以上行いました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- ・ 5職種それぞれが、生活支援体制整備事業に対して職種としての役割を把握し地域ケアプラザ全体で具体的な取り組みができました。
- ・ 生活支援体制整備事業の取り組みを積極的に発信ができた
- ・ 所長を含めた6職種ミーティングを毎月実施し、事業の連携や進捗状況を確認し合うことができた

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・ 包括支援センターと連携し総合相談より、潜在的なニーズや地域資源を把握し課題解決に取り組み、新しい担い手の確保を進めています
- ・ 地域資源や見守り活動のキーパーソンの情報収集を実施し、収集した情報を資源マップ・リストに整理を行っています
- ・ エリア内のサロンや食事会、体操クラブ・シニアクラブなどに顔を出し、顔のみえる関係づくりをすすめました。

(3) 連携・協議の場

- ・ 地域活動の参加を促進するために、福祉施設車輛を使って送迎を実施するプロジェクトの調整を実施しました
- ・ 協議体では孤立する高齢者の課題について引き続き取り組みました
- ・ 自宅を開放し高齢者の居場所づくりに取り組む地域住民の、担い手の後方支援を実施していきました

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・ 泉区内のケアプラザ合同で生活支援体制整備事業に取り組み、担い手を発掘に取り組みました。
- ・ 区社会福祉協議会と連携して泉サポートプロジェクトに取り組みました

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

- ・ 地域包括支援センターの周知や「介護保険相談」や「介護予防」につなげるため、街の駅出張講座を行いました。
- ・ 関係団体・機関との情報交換として・地域ケア会議や協議体を実施しました。
- ・ 職員間の認識共有化のため、6職種会議・支援ミーティングを活用しました。

②実態把握

- ・地域のサロンや催しに参加し、地域活動の担い手・民生委員との関係作りに努めました。その場で日常の困り事や不安、気になっていることを聞くことができました。
- ・6職種会議内で各々報告を行い、それに対する気づきの共有も行き実態把握に努めました。

③総合相談支援

来所のみならず、訪問対応ができることを積極的に説明し、相談支援を行いました。個別課題の把握は地域の実態把握の源であるという意識を持ち、総合相談票の作成とデータ共有ができるように業務をまとめた。日報作成を行い、翌日朝に出勤者で共有できる時間を作り、個ではなく「包括」として地域の相談にいつでもスムーズな対応ができるように工夫をした。

(2) 権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

成年後見制度の利用促進のために、地域の方々に広く制度について知っていただけるように講座を行った。コスモス成年後見サポートセンターの行政書士に講師を依頼した。

②高齢者虐待への対応

介護者のつどいを定期的で開催し、介護をされている方、経験した方の不安や疑問の解消ができるように努めた。ケアマネ等の専門職を招いてアドバイスや制度の説明ができる機会を作った。認知症への理解や、高齢者を狙った悪質商法についても情報提供を行い、皆で話し合うことができた。

③認知症

認知症キャラバンメイト連絡会を行い、メイト各自の情報交換の場を定期的にもてるように支援を行った。活動内容の報告や、講座で使用する資料についての講座を行う際の工夫等を共有することで、来年度の目標や取組内容を共通してもてるようにメイトと包括職員の共働をすることができた。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・地域インフォーマルサービスをケアマネに広報するために、ケアマネサロンに中川・新橋エリアの3団体の活動紹介を実施しました。
- ・地域から依頼があり、介護保険制度について出張講座を行いました。
- ・エリアの事業所の運営推進会議に参加し、地域住民とサービス事業所をつなぐことを実施しました。
- ・エリアの特別養護老人ホームの入所判定会議に参加しました。

② 医療・介護の連携推進支援

- ・エリアのクリニックや薬局に訪問しケアマネに情報提供したり、地域情報を伝達したりしました。
- ・認知症初期集中支援チームでは担当医療機関や区と協働して認知症支援に取り組みました。
- ・多職種連携会議では事例検討会に参加しました。

③ ケアマネジャー支援

- ・個別ケースの相談から、ケアマネにと同行訪問を実施しました。
- ・担当者会議に参加し、ケアマネに助言などを実施しました。
- ・利用者からケアマネのケアマネジメントについて相談があった時にはケアマネジメント向上のためのアドバイス等を実施しました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・個別地域ケア会議は年2回・圏域地域ケア会議を協議体と共催で1回開催しました。
- ・個別の地域ケア会議ではエリア内の訪問看護事業所管理者や薬局薬剤師に参加してもらい、医療的な側面での助言を受けました。
- ・圏域地域ケア会議では協議体と共催で移送支援について検討したところ買い物支援が新たな課題として浮上しました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・事業対象者・要支援者の主体性と意欲を引き出せるような目標志向型のマネジメントの実施をしました。
- ・プランに地域特性を活かせるインフォーマルサービスを組み込めるようサービスB事業所と連携しました。
- ・委託ケアマネと連携し、適切なケアマネジメントを実践できるよう支援しました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- ・ 介護予防普及啓発のため、高齢者の地域の拠点（なごみの広場）や、各地域のサロンに積極的に参加しました。
- ・ 地域内にある2つの元気づくりステーションの活動が円滑に継続できるように支援しました。
- ・ ケアプラザで実施したイベントや地域のお祭りに参加し、介護予防の必要性を高齢者向けだけでなく、若い世代にも伝え、意識づけをしました。

5 その他

--

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

- ・ 業者委託による定期清掃・設備点検・機械警備を実施しています。
- ・ スタッフによる日常の清掃を実施し、経年による劣化など見つかった場合は適宜補修しています。
- ・ 引き続き館内・事務所・倉庫について整理整頓を行い、環境整備をしています。
 - ・ 玄関外では季節の花のプランターを設置し、デイサービス利用者・ボランティアによる野菜作りを実施し、緑の環境を維持しています。

(2) 効率的な運営への取組について

- ・ 合築のコミュニティハウスとも協力し、不要な電気のコマメな消灯等引き続き節電に努めています。
- ・ 印刷時の裏紙利用、両面印刷などで印刷物の無駄を省いています。
- ・ 経理や給与・総務事務の一部を本部に委託することで法人全体での業務効率化を図っています。
- ・ 複合施設として、デイサービス部門・新橋コミュニティハウスとの費用按分などは覚書を基に適切に管理します。

(3) 苦情受付体制について

- ・ 苦情受付窓口や解決責任者、苦情解決第三者委員を施設内に掲示し周知を図っています。
- ・ サービス利用者に対しては苦情受け窓口について、重要事項説明書に記載し、了解が得られるよう説明を行なっています。
- ・ スタッフは日ごろから利用者とのコミュニケーションを怠らず、苦情を申し出しやすい環境を作っています。
- ・ 苦情発生時はまず利用者の話をよく聞き、報告書を作成するとともにスタッフ間で情報共有しました。業務改善のために振り返りを実施し今後の対応について検討しました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ 当法人リスクマネジメント関連規程及び横浜市の要綱に則り対応しています。
- ・ 屋外に防犯カメラ計4台を設置し、夜間などのセキュリティ強化を図っています。
- ・ 事務室に緊急時の報告・指示系統図、事故対応連絡先を貼りだし、事故時に備えます。
- ・ 年2回の防災訓練を実施し、災害時対応についての意識強化を図っています。
- ・ 館内にはAEDも設置しているため、実際の使用訓練を実施していきます

(5) 事故防止への取組について

- ・ 事故対応及び予防規程に則り、事故事例、ひやりはっと事例を報告書として作成し情報の共有・改善策の検討をその都度実施し、再発防止に努めています。
- ・ 事故予防・事故対応・安全運転については研修を実施し事故防止の徹底を図ります。
- ・ 設備総合巡視点検業者、スタッフで危険個所の点検を行い、適宜改善を行いました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

- ・ 当法人の就業規則・個人情報保護規程に則り対応しています。
- ・ 個人情報・プライバシー保護について年1回研修を実施しています。
- ・ 個人情報漏えい防止チェックシートと研修を実施しています。
- ・ 個人ファイルを入れる書棚の施錠チェックを毎日実施しています。
- ・ 館内には法人の個人情報取り扱い方針を掲示し継続して周知を図っています。
- ・ 事業所内のパソコンは全てパスワード管理し、部外者がアクセスできないようにしています。
- ・ 入職時・退職時には個人情報保護についての誓約書を取り交わしています。

(7) 情報公開への取組について

- ・ 法人ホームページで情報公開に取り組んでいます。
広報誌掲載のほか自主事業のお知らせ、事業報告等をブログで掲載しています。
- ・ 自主事業などの情報は連合自治会が運営しているホームページにリンクを貼ってもらうなどより広く住民に公開できるよう連携しています。
- ・ ケアプラザで年4回広報誌を発行し、関係機関や地域住民に今後の事業予定・事業報告や地域の情報を掲載し情報発信しています。
- ・ 交流ロビーには理事会資料を閲覧可能にしており、法人全体の事業計画・事業報告・会計報告等を開示します。
- ・ 介護保険事業（居宅介護支援）については介護サービス情報の公表制度に則り運営状況等をかながわ福祉サービス振興会のホームページに掲載しています。

(8) 人権啓発への取組について

- ・ 非常勤から常勤まですべての職員を対象にした、人権についての法人研修を実施しています。
- ・ 障がい者差別解消法のリーフレットを職員に配布し、意識向上に努めています。
- ・ 相談援助や地域からの問い合わせなどへの対応について人権への配慮点などについてミーティングなどで確認しています。

(9) 環境等への配慮及び取組について

- ・ 紙類、段ボール、燃えないゴミや缶等分別を徹底しています。
- ・ コピー用紙や個人情報のない FAX 受信紙の裏紙利用をすすめるとともに社内メールでの情報資料共有、効率化を継続的にすすめています。
- ・ 毎日点灯する交流ロビーや事務室は LED 電灯に替えています。ほかこまめな消灯、エアコンの ON/OFF をスタッフに意識させ節電を図っています。
- ・ 適宜電動自転車及び公共交通機関を利用することよりガソリン等省エネルギー・排ガス削減に努めています。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

- ・保健師（常勤2）、主任ケアマネージャー（常勤1）、
社会福祉士（常勤2）、予防プラン担当介護支援専門員（非常勤3）

《目標に対する成果等》

- ・事業対象者・要支援者の主体性と意欲を引き出せるような目標志向型のマネジメント、プランに地域特性を活かせる様にインフォーマルサービスを組み込んだ支援を実施するよう努めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

-
-
-

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
345	338	341	347	331	340
10月	11月	12月	1月	2月	3月
342	334	331	341	342	342

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市新橋地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額						
	②募集人数	総経費	収入			支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
介護者のつどい	①地域住民	8,000	地活					
	②なし		包括				8,000	
	③なし		介護					
			生活					
あそびのひろば フォトスタジオdeケアプラザ	①未収児と保護者	9,986	地活					9,986
	②なし		包括					
	③なし		介護					
			生活					
交流ロビー活性化事業	①地域住民	11,060	地活					11,060
	②なし		包括					
	③なし		介護					
			生活					
子ども料理教室	①小中学生	25,063	地活		11,300			36,363
	②10		包括					
	③300		介護					
			生活					
団体交流会	①貸室登録団体	3,300	地活					3,300
	②なし		包括					
	③なし		介護					
			生活					
ジュニアフレンド	①泉区内障害児	3,417	地活					3,417
	②10人		包括					
	③なし		介護					
			生活					
夏休み親子工作教室	①小中学生と保護者	8,000	地活		7,000			15,000
	②15人		包括					
	③なし		介護					
			生活					
団体大掃除	①貸室登録団体	8,087	地活					8,087
	②なし		包括					
	③なし		介護					
			生活					
ありがとうまつり	①地域住民	40,580	地活					40,580
	②なし		包括					
	③なし		介護					
			生活					
移送支援プロジェクト	①移動困難な高齢者	4,490	地活					
	②なし		包括					
	③なし		介護					
			生活				4,490	
居場所づくりプロジェクト 講師謝礼	①地域住民	70,000	地活					
	②15人		包括					
	③なし		介護					
			生活				70,000	
居場所づくりプロジェクト 認知症カフェ	①地域住民	27,535	地活					
	②30人		包括					
	③なし		介護					
			生活				27,535	

平成30年度 自主事業報告書

横浜市新橋地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護者のつどい	介護の経験のある方、現在介護をになっている方のピアグループとなるように定期的にお茶を飲みながら、悩みや不安を話せる機会を提供する。	年10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あそびのひろば フォトスタジオ deケアプラザ	親と子の向き合う場・情報交換・友達作り・気分転換の交流を目的として実施	3回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉のパン屋さん	障害者の社会参加の場を提供	76回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉の図書コーナー	子供から高齢者までがパッと立ち寄り集える場の提供。そこから交流が始まる仲間が出来る事を目的とする	347回/年

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
泉区障がい児余暇活動支援事業 ジュニアフレンド	①学校と家庭の往復になりがちな障がい児に新たな出会いの場、生活経験を拡大できる場を提供し家族のゆとりある暮らしをサポートする。②障がいに理解のある地域のボランティア、学生ボランティアの育成を図る。③障がい児の親御さんの休息の時間をつくる。	2回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域の架け橋な ないろふうせん	①地域全体大人も子供も世代を超えた交流を深め地域の繋がりを太くして行く多世代交流をテーマにした地域密着イベントを実施 ②家族内のコミュニケーションを図る	1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
団体交流会	<ul style="list-style-type: none"> ・貸室の利用ルールの再度確認、注意事項の伝達。 ・新橋地域ケアプラザを利用している団体同士の交流機会。 ・地域における福祉保健活動従事者が増えるように働きかけ。 	1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
薬物乱用防止教室	ケアプラザによる地域向け福祉教育	1回/年

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スマートフォンの使い方を知ろう	一人暮らし高齢者が増加傾向にあり、またここ数年災害に見舞われるようになってきていますが、自分達が住む地域の災害状況、天気予報、交通情報、避難情報を取得したり ご自身の安否を近親者に情報発信する道具として、また坂道の多いこの地域で、買物して配送してもらえる道具としても スマートフォンは日常生活を送る上であったほうが良い道具と考えスマートフォンでできることを紹介する	2回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休み親子工作教室	①小学生向け事業の展開 ②親子で物づくりをする機会の提供 ③地域貢献事業を行う神奈川土建組合さんへ場の提供	1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子ども料理教室	①子どもの貧困と言われる中、忙しい両親に代わって、買い物のポイント、調理方法を実践	4回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
団体大掃除	①貸室利用団体と一緒にケアプラザの1年間の垢落とし ②ケアプラザと登録団体の活性化を図る ③ケアプラザを利用している団体間の交流機会	1回/年

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康歌声サロン	①歌を歌って「楽しい」「気持ちが良い」「生きがいになる」実感を感じてもらい、心身ともに健康になる ②歌好きが集まり、人と人がつながる ③定期的な開催で、生活のリズムをつくる	1回/月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ありがとうまつり	地域の方にまた1年間ささえていただいたことへの感謝を伝え、一層のコミハ・ケアプラザの周知を行い地域連携して繋がるため。	1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
日曜日の音楽カフェ	「認知症」について当事者やご家族、また地域住民が学び合える場を目的として、音楽やお茶菓子を楽しむカフェのような居場所として設立。	10回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
日曜日の音楽カフェ	「認知症」について当事者やご家族、また地域住民が学び合える場を目的として、音楽やお茶菓子を楽しむカフェのような居場所として設立。	10回/年

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
緑園コミュニティカフェ	地域住民の情報共有の場であり、住民同士で集い何でも相談でき、ご近所の仲間を増やすための居場所づくりとして活動。	11回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボールを使った運動講座	ボールを使った運動講座を実施することで、男性の参加者を呼び込み高齢者の居場所づくりを目指す。	14回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域サロン・食事会の移送支援	高齢になり足腰が弱くなり、出歩かなくなってしまうことを防ぐために、身近なサロンや食事会への送迎を実施する。将来的には地域住民の自主的な活動に結びつけていく	4回/年